

1部：孤独な福音(ルカ 13:18-30)

人に理解してもらいたいと思うのは当然の願いだが、弟子の道は人に理解してもらえない孤独な道であり、だから主と共に旅人としての道を歩むことになる。なぜなのか。

1。人々は多くの人々が共感する理論に流れる。

- 1) ヒューマニズム(人間勝利)
- 2) 因果応報の思想
- 3) 宗教的傾向
- 4) 大義名分
- 5) 時代の潮流
- 6) 教会の勘違い

2。人々は肉の動機を満たす理論に流れる。

- 1) ご利益
- 2) 何を食べるか飲むか着るか
- 3) 状況打破(問題、病気、貧困、苦難など)
- 4) 教会の変質
ーバプテスマのヨハネ、エレミヤ、エリヤ、預言者

3。福音は誰も理解出来ないいのちである。

- 1) 絶望の人間
- 2) 霊的問題
- 3) いのちの必要
- 4) Only キリスト
- 5) 恵まれた(お選び)人だけが

6) 成長して実を結ぶ

福音は世にある何ものでも得られないいのちが得られる奥義であることを覚えて、数より福音が正しく悟れるように備えられた人(パン種)にフォーカスを合わせよう！

どんな状況でも、私にいのちあることを感謝して味わい、死んでいる人々にいのちを運びいのちの運び屋として生きて行こう！

2部：真の希望-不可抗力的恩寵 (創世記 32:24-28)

信者なのに、神様のことを自分の水準で理解して解釈すると、人生につまずき、信仰生活に迷い、主の働きが壁にぶつかったりしてダウンしてしまう。神様はどういうお方なのか。

1。神様は選ばれた民を決して諦めることなどない。

- 1) アウグスティヌス
- 2) パウロ
- 3) 自分
- 4) 理由は一つ(使徒 18:10)
- 5) キリストの前にひざまずくように
(不可抗力)

2。神様は選ばれた民を Only の信仰に追い込まれる。

- 1) ヤコブの人間性
- 2) 決断の忘れ
- 3) 恋への情熱(執着)

4) 願い成就-成功の勘違い

5) 絶対危機-兄エサフ

6) 一人ぼっちの格闘

7) Only キリスト-ピリピ 1:6

(不可抗力)

3。神様は選ばれた民に負けるお方である。

- 1) ヤコブからイスラエルへ
- 2) キリストと Only の告白の前で盲目に
- 3) ペテロ
- 4) 十字架の強盗

神様は惨めな私たちを不可抗力的恩寵をもって信仰告白へと追い込まれ、その信仰告白を聞いて盲目になり馬鹿みたいに祝福されるお方であることを覚えよう！

どんな苦難でも、キリスト Only の告白を待っている神様の時刻表と見て、自分の水準に縛られることなくキリストを告白して祝福を確認し確信しよう！現場の問題を、キリストにひざまずかせる神様の仕事と見て、時刻表を待ちつつ祈ろう！

1部-ルカ 13:18-30 孤独な福音

なるほど/人々は多くの人々が共感する理論や肉の動機を満たす理論に流れるが、福音は誰にも理解してもらえないいのちなので孤独であるが、福音だけにいのちの実が結ばれる。

ならば/孤独な福音の道を覚悟して、数より福音が正しく悟れるように備えられた人(パン種)にフォーカスを合わせよう！

どんな状況でも、私にいのちあることを感謝して味わい、死んでいる人々にいのちを運びいのちの運び屋として生きて行こう！

2部-創世記 32:24-28 真の希望-不可抗力的恩寵

なるほど/神様は不可抗力的恩寵で選ばれた民を諦めることなく救われて、キリスト Only の信仰に追い込み、盲目のように祝福を注がれる。

ならば/信者なら、どんな苦難でもキリスト Only の告白を待っている時刻表と見て、自分の水準に縛られずにキリストを告白して祝福を確認し確信しよう！現場の問題を、キリストにひざまずかせる神様の仕事と見て、時刻表を待ちつつ祈ろう！